

緊急連絡先

迷わず118番(海上保安庁)110番(警察)119番(消防)

番号	連絡先	TEL
1		
2		
3		
4		

巡回点検表

番号	実施項目	はい	いいえ
1	警備員の警戒場所、警戒方法は適切か。		
2	使用していない船室、倉庫、出入口等は施錠されているか。		
3	船内・施設内は整理整頓され、不審物が発見しやすいか。		
4	避難経路に支障はなく、問題なく避難ができるか。		
5	船内・施設内に所有者・管理者不明の物が放置されていないか。		
6	ゴミ箱やロッカーなどに不審な物が放置されていないか。		
7	消火器や救命胴衣などの資材は管理番号が付され、数や設置場所に異常はないか。		
8	換気口、点検口、消火栓、消火器、AEDはシールをされているか、シールの破れ等はないか。		
9	船内・施設に破損箇所はなく、破損箇所は補修がされているか。		
10	防犯カメラなど防犯設備が適切に機能しているか。		
11	船内外・施設内外に不審車両や不審者の姿はないか。		
12	港湾施設や係留場所に許可されていない車両などがいないか。		

メモ欄

この海を守る。

～テロを防ぐための～
7つのすすめ

G7広島サミット
2023年5/19～5/21

関係閣僚会合
2023年4/15～12/10

期間中テロ対策強化に
ご協力をお願いします！

海上・臨海部テロ対策協議会

<海上・臨海部テロ対策協議会>

構成団体（順不同）

一般社団法人 日本船主協会／一般社団法人 日本旅客船協会／一般社団法人 日本外航客船協会／日本内航海運組合総連合会／一般社団法人 日本長距離フェリー協会／日本船舶代理店協会／外航船舶代理店業協会／一般社団法人 日本港運協会／一般社団法人 日本港湾タグ事業協会／日本水先人会連合会／公益社団法人 日本港湾協会／外国船舶協会／公益財団法人 海上保安協会／

国土交通省、海上保安庁

【座長】日本大学危機管理学部教授 河本 志朗

【協力】日本大学危機管理学部 野口 雅葵（4年）

田淵 こずえ（4年）

辻川 桜子（2年）

G7サミットや関係閣僚会合の開催は、世界各国要人が集まるため、テロの発生が懸念されています！

サミットはテロの格好の標的とされ、サミットに関連したテロは世界各国で発生しています。また、船舶を狙ったテロも発生していることから、船舶や臨海部におけるテロへの警戒が大切です。

■イギリス・グレンイーグルスサミット(2005)



英国サミット時の、ロンドン同時爆破テロでは約700名が負傷し56人が死亡。

■フィリピン・スーパーフェリー14号爆破事件(2004)



出典：平成16年度海上におけるセキュリティ対策調査研究報告書(日本財団図書館)

フィリピンで旅客船内に持ち込まれた中古テレビ(TNT火薬約3.6Kg)が爆発し、乗客63名が死亡、53名が行方不明、数百人が負傷した。

テロを防ぐ7つのすすめ

1. 遠い国の出来事ではないテロに対して警戒をしましょう！

テロや無差別殺傷事件は、日本でも発生しています。身近なものとして、テロを警戒しましょう。



2. 船内・施設内は、常に整理整頓しておきましょう！



爆弾を置く場所がないだ！？

不審物を置きづらく、発見しやすくするために整理整頓を心掛けましょう。

3. 出入り管理を厳重に！

全ての人に対してIDカードや立入許可証を必ず確認し、訪問者の出入りも必ず記録しましょう。

4. テロを起こさせない警戒警備

①不審者、不審物などを発見するために、船内や施設内をくまなく巡視しましょう。

◇普段使わない倉庫や出入口は必ずロック！

◇消火栓、消火器やAEDの収納場所は、必ずシール！

◇巡回点検表を使って、もれなくチェック！

⇒裏面の巡回点検表必見！？

②船や施設の周囲も確実に警戒しましょう！海外では、ドローンや小型ボートを使ったテロも発生しています。



異常に近づくとドローンや小型ボートを見つけたときは、安全な場所に避難し海上保安庁(118)や警察(110)に通報しましょう！

5. 不審物を見つけたら、迷わないですぐ通報！

「踏むな！触るな！蹴とばすな！」を合言葉に、不審な物を見かけたら手を触れずに、すぐに海上保安庁や警察に通報しましょう！

【不審物ってなあに？】



- そこにあることがおかしい物
- 不審者が故意に置いた疑いのある物
- 危険物である疑いがあり、中身がわからない物

6. 積極的な声掛けを行いましょう！

具合が悪そうな人、異様に荷物が多い人、服装や行動に違和感のある方など気がかりな人に対しては、積極的に声を掛けましょう！

気がかりな人について、同僚や上司と情報を共有し、不審に感じた場合には迷いなく海上保安庁や警察に通報しましょう。

7. 連携(顔の見える関係づくり)

テロや事件、事故の発生に備えて、日頃から海上保安庁、警察、消防などの関係機関との顔の見える良好な関係を作っておきましょう。

社内の報告、連絡先を確認しておきましょう。

⇒裏面の連絡先表に記入しておきましょう！